

◎地域を変える新しい力を求めて

# みんなで汗を流したり、おしゃべりしたり、そこから始まる「地域おこし」もあると思う。



profile

田舎暮らし、農業、雪国での生活。何もかもはじめての体験でした。

生まれは、神奈川県横浜市で農業にはまったく縁のない家で育ちました。仕事を探しているときに、松代に知り合いがいて、「地域おこし協力隊」というのを募集しているよと教えてくれたんです。地域おこしという仕事に興味があったので応募してみたというのが、ここに来ることになったきっかけです。田舎暮らしも農業も雪国もはじめて、もう何から何まで地域の皆さんや市の職員の方々と同じ隊員の先輩方に教わってやってみるしかないんです。だからこそ、あつという間に地域に溶け込むことができたんじゃないかな。

月に1回は集まるろうと、みんなで楽しめるイベントを企画。

松代地区の西端にある旧奴奈川村の6集落を担当しています。過疎地ですから、若者が土地を離れ、高齢化が進み、老人会などもなくなり、寄り合いが減ってきていたんです。棚田や農業を守るといっただけでなく、とにかく月に1回はみんなで集まろうと、鍋会やお好み焼き会、集会所の清掃や花壇の手入れなど、月例会も親睦を深めることで集落で結束できるようにいろいろ趣向を凝らしています。慣れない農作業や田舎暮らしですが、みなさんが親切に教えてくださったり、手伝ってくださったり、

◎Looking for new strength to revitalize the region. Areas can be “revitalized” beginning with hard work and talking.

Mr. Hiroki Miyahara is from Yokohama City in Kanagawa Prefecture. In November 2009, he moved to Matsudai District to start work in a cooperative group for regional revitalization. Mr. Miyahara is engaged in stimulating the region by helping with farmwork and participating in various events, while renting vacant houses and fallow land on which to carry out agricultural business. As well as being in charge of one of the villages in Hoshitonge, which is famous for its terraced rice fields, he has also been entrusted with the administration of the local meeting, experience and exchange facility “Kyasshii Hall.”

Mr. Miyahara explains: “It’s really urgent that a system is established so that people can resolve the various challenges faced by underpopulated areas with assistance from administrative powers.”

◎寻求改变地区的新生力量。大家一起流汗，互动交流。在此基础上开展“活跃地区”的活动。

宫原大树(Hiroki Miyahara)来自神奈川県横浜市。从2009年11月开始，作为活跃地区合作队的成员到松代地区赴任。租借空置的房屋和休耕的农地经营农业，主要协助农作业，并通过参加各种活动激发地区的活力。以梯田闻名的星峠村落也是他负责的村落之一，他还肩负着对这里的集会场兼体验交流设施“Kyasshii会馆”的运营重任。

宫原说：“针对解决偏僻地区的各种课题，急需建立能够借助行政的力量由大家共同解决的体制”。

地域おこし協力隊

昨今の少子高齢化の影響により、山間集落では過疎化が進み、集落機能維持が困難な状況を引き起こし、十日町市の持つ良さを守り続けていくための仕組みが揺らぎ始めています。地域おこし協力隊は、人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の意欲ある人材を積極的に招へいし、その定住・定着を図ることで、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とする取り組みです。

- 主な仕事・業務／●農林業の応援・従事活動(全般) ●集落共同作業活動(道路、水路修繕作業など) ●住民の生活支援活動(高齢者世帯の生活支援、除雪作業など) ●地域行事、地域イベントの運営・企画支援活動 ●地域の活性化に必要な活動



- 1.十日町に住むことになったと告げた時びっくりしていた奥さんも、今はすっかり山での暮らしになんていいます。
- 2.生み立ての卵は格別。飼っている鶏は50羽。今では集落の人たちに卵をお裾分けするほどです。
- 3.もちろん農機具の運転もはじめて。でもおじいちゃんたちが親切に教えてくれます。



地域おこし協力隊(松代地区)・宮原大树(のみ)さん

神奈川県横浜市出身。2009年11月から、地域おこし協力隊として松代地区に赴任。空き屋や休耕地を借りて農業を営みつつ、主に農作業の手伝いやさまざまな行事への参加を通じて地域の活性化に取り組んでいます。棚田で有名な星峠集落も担当。ここにある集会場兼体験交流施設「きゃっしい会馆」の運営も任されています。